



繫

西川小学校だより

第10号
R2. 1. 15
西川小学校
校長 阿部 仁

令和時代のスタート、挑戦の1年に・・・

明けましておめでとうございます。今年の冬は暖冬で、例年まれに見る積雪量の少なさに、もうすぐ始まるスキー授業が予定通り実施できるのか心配しているところです。昨年末は一部の学年でインフルエンザ罹患児童が増え、臨時休業措置を取らざるを得ませんでした。しかし、この年末年始休業中、子ども達並びに教職員に大きな事故や怪我もなく、元気に1年のスタートを切ることができました。昨年は、学校運営協議会の熟議で話題になった「異学年児童同士の交流」の視点から、運動会等の学校行事や日常生活の中で縦割り班活動を重視することで、思いやりや優しい心の醸成に力を入れました。初めは戸惑いのあった高学年児童が、給食の配膳を丁寧に教えたり、運動会練習で下学年児童をリードしたりするなど、大きな成長が見られました。

さて、今年の干支は「庚子（かのえ・ね）」。令和時代のスタートに相応しく、様々なことに挑戦する良い年だそうです。また、今年オリンピックイヤー。世界中の目が日本に注がれ、レベルの高い戦いが繰り広げられます。そんな記念すべき今年を、本校も学力向上・生徒指導・地域との連携等において、前年度踏襲ではなく新たな「挑戦」の1年にしたいと思います。今年も保護者や地域の皆様方のご協力をよろしく願います。



心を込めて・・・校内書き初め大会

1月8日（水）、全校児童が校内書き初め大会に臨みました。各学年とも指定された課題の文字を「心を込めて、美しく」書き上げました。甲乙つけがたい作品ばかりで、審査に非常に悩みました。



<1年：初めての硬筆の書き初め>



<6年：小学校最後の書き初め>

全校児童の作品を、1月9日（木）から23日（木）まで校内に展示しています。保護者、地域の皆様、お誘い合わせの上ご来校いただければ幸いです。

学校評価：保護者アンケート結果について

今年度の学校経営方針、教育活動、子ども達の様子について、保護者の皆様方より下記のようなご意見をいただきました。1月からの教育活動や子ども達への指導に生かしていきたいと思えます。今後ともご理解とご協力をよろしく願いいたします。

4：そう思う 3：だいたいそう思う 2：あまりそう思わない 1：思わない

設 問	評 価 (平均)
1 子ども達は、仲良く、楽しい学校生活を送っている。	3. 4
2 子ども達は、進んで元気なあいさつをしている。	2. 7
3 学校は、問題行動やいじめのない学校づくりに努めている。	3. 1
4 学校は、楽しく分かる授業を行っている。	3. 2
5 学校は、一人ひとりを大切に、みんなが活躍できる教育活動を行っている。	3. 2
6 学校は、子ども達の体力向上や健康な体づくりのための取組みをしている。	3. 2
7 学校は、学校や通学路における子ども達の安全確保に努めている。	3. 1
8 学校は、学校経営方針や教育活動、子ども達の様子をよく伝えている。	2. 9
9 学校は、地域や保護者と連携し、信頼される学校づくりを進めている。	3. 1
10 学校は、地域の特性を生かし、西川らしい特色ある教育活動を行っている。	3. 4

<主なまとめ・今後の対応策>

○昨年度に続き、「楽しい学校生活」「地域の特性を生かし、西川らしい特色ある教育活動」についての評価が高い結果となりました。特に、生活科や総合的な学習などを中心に地域と連携した「西川らしい」教育活動を展開することで、子ども達に西川町を誇りに思う心が育まれているととらえている保護者が多く、「ふるさと楽行」等の成果が表れていると思われま。

○「楽しく分かる授業」「一人ひとりを大切に、みんなが活躍できる教育活動」「体力向上や健康な体づくりについて、どの学年もおおむね「3」もしくは「4」と評価した保護者が多い結果となりました。

△「進んで元気なあいさつ」について、「あいさつをしても返ってこない」という厳しいご意見や、通学班や地域でのあいさつが良くないというご意見が多数ありました。「自分から」を合言葉に、各学級や通学班会等で指導する他、保護者と連携した取組みを進めていきます。

△「学校経営方針や教育活動等の周知」について、オクレンジャーの配信回数の減少を指摘する保護者が多数おりました。オクレンジャーの主目的は「緊急連絡」というスタンスに立ち、大きな行事を中心に、各種お便りの記事と重複しないように配慮しながら随時配信していきます。

学校評価：子どもアンケート結果について

子ども達に学校生活・家庭生活に関するアンケート調査を実施したところ、下記のような結果となりました。今後の指導に生かしていきたいと思えます。

4：そう思う 3：だいたいそう思う 2：あまりそう思わない 1：思わない		＜数字：％＞			
NO	質問	4	3	2	1
1	学校生活が、楽しい。	79	18	2	1
2	自分から進んで、あいさつができています。	68	24	6	2
3	いろいろなことに、めあてを持ってチャレンジしている。	76	18	6	0
4	自分のよいところや、がんばっているところと言える。	57	30	7	6
5	授業が、楽しくわかりやすい。	72	24	2	2
6	授業中、進んで問題（課題）に取り組んだり、自分の意見を発表したりしている。（3年以上）	53	33	13	1
7	友だちと協力し合ったり、助け合ったりしている。	84	12	3	1
8	先生は、あなたの良いところを褒めてくれる。（1・2年）	78	16	6	0
9	先生は、あなたの考えや意見を大事にしてくれる。（3年以上）	85	13	2	0
10	先生は、困ったことがあったら相談にのってくれる。 （困ったことが無いため無答だった児童が複数名）	86	12	1	1
11	家庭学習をどのくらいやっていますか。（月～金：3年以上） 4:2時間以上, 3:1時間以上, C:30分以上, D:30分未満	17	58	24	1
12	宿題のほかに、自主的に予習や復習に取り組んでいる。 （3年以上）	49	33	15	3
13	早ね・早起き・朝ごはん・メディアコントロールをがんばっている。	62	33	4	1
14	家で、家族とたくさん話したり、お手伝いをしたりしている。 （3年以上）	72	24	3	1
15	学習などで地域のよいところをたくさん見つけた。	78	18	3	1
16	地域の行事に進んで参加したり、ボランティアに取り組んだりしている。（3年以上）	61	26	12	1

＜主なまとめ・今後の対応策＞

- 「学校生活が楽しい」と答えている児童が96％おり、「進んであいさつすること」や「めあてをもつてチャレンジすること」に対する意識も高い結果となりました。児童会を中心としたあいさつ運動や自己目標設定型の諸活動推進が成果となって表れていると思えます。
- 「地域の良さ」をたくさん発見している児童が95％おり、生活科や総合的な学習の時間、「ふるさと楽行」等で地域と連携した教育活動を充実させてきた成果と思えます。
- △「自分のよいところ・がんばっているところ」への意識はあまり高くなく、今後様々な活動の中で、児童一人ひとりの活躍場面を意図的に設けたり、授業や活動の中で「自分が役に立った」と感じられるよう手立てを講じたりしていきます。
- △家庭学習の時間について、1時間未満の児童が約3割いるほか、自主的に復習や予習にあまり取り組まない児童も約2割います。今後保護者と連携し、学年に合った家庭学習の時間を再確認するほか、高学年児童に対して自主学習や予習に取り組むよう適切に指導していきます。

スクールバス通学徒歩試行のまとめと今後の見通し

今年度もPTA主体で、6月と9月の年2回、スクールバス徒歩試行を実施しました。歩いた子ども達と保護者の感想や意見は、下記の通りでした。

<児童のアンケート調査結果>

6・9月、にしかわ保育園から学校まで歩いてみて、どう思いましたか。(一番近いものを1つ選択)								
学年 (回答数)	とても良かった とても楽しかった また歩きたい		まあまあ良かった まあまあ楽しかった		あまり良くなかった あまり楽しくなかった		ぜんぜん良くなかった ぜんぜん楽しくなかった もう歩きたくない	
	1年 (12名)	8	67%	3	25%	1	8%	0
2年 (6名)	5	83%	1	17%	0	0%	0	0%
3年 (8名)	1	13%	7	87%	0	0%	0	0%
4年 (8名)	5	63%	2	25%	1	12%	0	0%
5年 (12名)	6	60%	6	40%	0	0%	0	0%
6年 (14名)	6	43%	6	43%	2	14%	0	0%
合計 (60名)	31	52%	25	42%	4	6%	0	0%

<保護者のアンケート調査結果>

来年度の試行について(1つ選択)								
学年 (回答数)	おおいに賛成		どちらかといえば賛成		どちらかといえば反対		おおいに反対	
	1年 (12名)	5	42%	6	50%	1	8%	0
2年 (6名)	3	50%	3	50%	0	0%	0	0%
3年 (8名)	3	37%	5	63%	0	0%	0	0%
4年 (8名)	5	64%	1	12%	1	12%	1	12%
5年 (12名)	4	33%	8	67%	0	0%	0	0%
6年 (14名)	9	64%	4	29%	1	7%	0	0%
合計 (60名)	29	48%	27	45%	3	5%	1	2%

<まとめ・今後の見通し>

- ・児童の約94%が「また歩きたい」、保護者の約93%が「賛成」と回答していることから、来年度も実施する方向で検討していきます。
- ・距離や回数、乗降場所等について、町教育委員会並びに月山タクシー等と協議しながら検討していきます。

例) 間沢から実施可能か、運行ルートや所要時間がどうなるか

実施する時節や試行回数(5~6月・9~11月の月末各1週間程度等)

